



イソグルマ [磯車]



アマブネ [海女船]  
舟人海女漁に使う船。ほぼ長さ6～7メートル、幅1メートル。平らな底の船で、後部に男(海女の夫)が乗って、船をあやつり、磯車で海女の浮上を助けます。



イソヅナ [磯綱] とオモリ [重り]  
イソヅナの先端には、鉄製のブドウ [分銅] といわれる重りがつけてあります。むかしはクリイカリ、イシイカリなどと呼ばれた石製の重りでした。



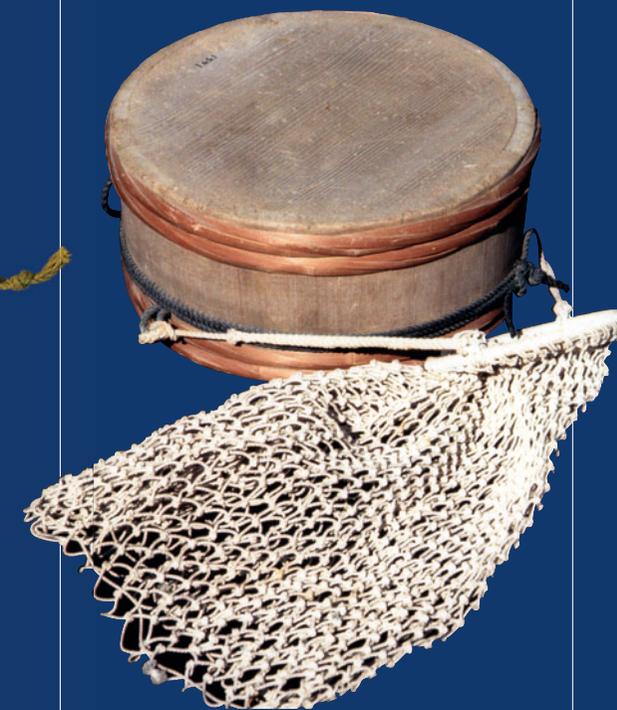
イソオケ [磯桶]  
アマオケ [海女桶] とも呼ばれ、徒人海女が獲物入れと海面で一息いれる休息用に使います。直径が50センチほどあります。



イタダキ  
海女がイソオケなどを頭の上のせて運ぶときに敷きものとして使いました。



タンポ  
イソダルがプラスチック製の浮輪に発展したもので、発砲スチロールを巻いて使っています。近年はほぼこの道具が使われています。



イソダル [磯樽] とスカリ  
直径50センチほどの樽で、浮きの役目を果たします。下部に網状のスカリと呼ばれる獲物入れを付けます。イソオケと比べ、海中にあるため、とったアワビ、サザエの鮮度をたもてます。